

建築概論

(第8回)

技術者倫理とは

1

今回から建築概論のもう一つのテーマである技術者倫理について講義をしていきます。なお、今回以降の講義では、『建築倫理用教材』(日本建築学会編, 丸善)を参考にしています。

この技術者倫理というのは、JABEEで、このような授業を必ずカリキュラムに入れるように定められているのです。これは、JABEEは、国際的に教育の質を保証するものですから、技術者倫理も教えられていない教育機関の卒業生は、国際的に信用できないということですね。

日本という国は、学校教育がかなり徹底していますから、大学でわざわざ倫理教育をしなくてもよいのではないかと思います。一歩外に出るとまったく日本とは違うわけです。たとえば、置き引きというものがありますが、日本では、ベンチに荷物を置いてトイレに行っても、それが盗まれることはほとんどありません。しかし、海外では、荷物を置いてトイレに行ったらすぐに盗られてしまいます。また、日本では、財布を落とした場合、落とし物と言って警察に届けるのが普通ですが、海外では、まず返ってくることはありません。それくらい、国によって、道徳観、倫理観は異なるわけです。

それで、JABEE認定を受けている教育機関では、このような倫理教育の授業を行うわけです。ですから、そんなの常識と思うようなこともあるかと思いますが、しっかり聞いてもらえればと思います。

倫理とは



https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/text/basic/what_is/index.html

技術者倫理

技術者同士の間での決まりごと、守るべき秩序

建築倫理

建築技術者の間での決まりごと、守るべき秩序

2

まずは、「倫理」とは何か？ということですが、倫理の「倫」は、「人の輪」、「仲間」を意味し、「理」は、「模様」、「ことわり」を意味します。
そうすると、「倫理」は、仲間の間でのことわり、すなわち、決まりごと、守るべき秩序という意味になります。

ですから、「技術者倫理」というのは、技術者同士の間での決まりごと、守るべき秩序ということです。また、「建築倫理」というのは、建築技術者の間での決まりごと、守るべき秩序ということです。

「建築倫理」という言葉は聞きなれないと思いますが、建築技術者の倫理ということですから、覚えておいてください。

建築倫理を学ぶ意義

建築学科の学生が、卒業後、実社会に出て何らかの建築専門家になる場合に直面する倫理問題について

- ① あらかじめその概要を知る
- ② 自分が背負うことになる責任の重さを知る
- ③ これにどう対処するかを考える

3

では、なぜ建築学科では、建築技術者の倫理を大学で学ぶのか、その意義をここに示しています。

これをよく頭に入れて、以後の講義を聞いてください。

技術者に必要な三つの倫理

- 順法性(コンプライアンス)
- 説明責任(アカウンタビリティ)
- 真実の記述(トゥルースライティング)

倫理の出発点は、常識(コモンセンス)

4

まず、技術者に必要な三つの倫理、これは、憶えてください。
(これは、ある技術者から聞いた話ですが、非常にわかりやすいので、講義に取り入れています。)

技術者倫理の基本は、順法性、説明責任、真実の記述の三つですね。

しかし、最近はこの真実の記述のところ、色々問題になっていますね。国家公務員が、公文書改ざんという大問題を起こし、それがまた、法で裁かれないという由々しき事態が起きています。

倫理の出発点は、「常識」だと書いてありますが、森友学園問題公文書改ざん事件は、国民の常識からすればありえない話です。これがうやむやなまま終われば、日本の信用は地に落ちますね。

反面教師という言葉がありますが、権力に媚びて倫理を曲げることは、人間としてやってはならないことですね。

日本建築学会の倫理綱領

- ① 地域固有の**歴史**と**伝統**と**文化**を尊重する。
- ② 地球規模の**自然環境**と知恵と技術を**共生**させる。
- ③ 建築の社会的役割と**責任**を**自覚**する。
- ④ 人々に**貢献**する。

5

これは、日本建築学会が示している倫理綱領です。少し難しいかも知れませんが、これも覚えておいてください。
(なお、日本建築学会は、建築に関係する技術者・研究者が所属する建築分野で最大の学会です。)

キーワードを赤で示していますが、まず、歴史・伝統・文化の尊重ですね。それから自然環境との共生、責任の自覚、それから社会貢献ですね。

行動規範(行動指針)

1. **人類の福祉のために**、自らの叡智と、培った学術・技術・芸術の持ち得る能力を傾注し、勇気と熱意をもって建築と都市環境の創造を目指す。
2. 深い知識と高い判断力をもって、**社会生活の安全**と人々の生活価値を高めるための努力を惜しまない。
3. 持続可能な発展を目指し、資源の有限性を認識するとともに、自然や**地球環境**のために廃棄物や汚染の発生を最小限にする。
4. 建築が近隣や社会に及ぼす影響を自ら評価し、良質な社会資本の充実と**公共の利益**のために努力する。
5. 社会に対して**不当な損害**を招き得るいかなる可能性も公にし、排除するよう努力する。
6. 基本的**人権を尊重**し、他者の知的成果、著作権を侵さない。
7. 自らの専門分野において情報を発信するとともに、会員相互はもとより他の職能集団を尊重し、**協力を惜しまない**。

6

これは、倫理綱領にもとづく行動規範ですが、一通り読んでください。

キーワードを赤で示していますが、人類の福祉に貢献する、社会生活の安全を守る、地球環境に配慮する、公共の利益を守る、不当な損害を与えない、人権を尊重する、協力を惜しまない。

何か自分の行動に迷うことがあったら、こういうものを見直して、判断することが大事ですね。

建築物と建築技術の特質

- **建築物は巨大**で土地に定着している
 - 日照、ビル風など周囲の都市環境に大きな影響を与える。
 - 工場生産などに比べ生産管理が不完全になりやすい。
- **寿命が長い**、建設費が高価、建設に時間がかかる
 - いったん建設されてしまうとあとで問題が発生しても取り返しがつかない。
 - 長期にわたり、初期の性能の維持が要求される。
- **シェルター**として多くの人々の生活空間を作り出す
 - 快適性、健康性、安全性の確保が不可欠。
 - 障害を持つ人々、老人や子供、男女、外国人等、多くの人を想定する必要がある。

7

このスライドは、建築倫理を考える上で、頭に入れておかないといけない項目です。

まず、建築物は巨大だということですね。したがって、周りの環境に及ぼす影響も大きいし、造るのも簡単ではないということです。

次に、寿命が長く、いったん建設されると、簡単には取り壊せないということです。また、長期にわたってメンテナンスコストがかかるということです。

そして、シェルターとしての役割を忘れてはならないということです。

四川大地震では、多くの学校が崩壊して沢山の子どもたちのいのちが奪われましたが、住む人の安全性をまず第一に考えるべきということですね。

倫理観がない人の特徴

- 倫理観がない人は自分が幸せであれば満足
 - 倫理観がない人というのは、基本的に**自己中心的**で、他人の幸福に対して関心がありません。
- 倫理観がない人は**ウソをつく**
 - 悪いと思っていないので、平然とウソをついたり、簡単にばれるようなウソをついたりすることもあります。
- 倫理観がない人は**欲望をコントロールできない**
 - 倫理観がない人を表現するのに、よく「欲望を上手くコントロールできない」人ということがあります。たとえば、犯罪や不倫がそうでしょう。

マナラボ : <https://docoic.com/9142>

8

次に、このスライドは、倫理観がない人の特徴を挙げています。

まず、自己中心的、うそをつく、欲望をコントロールできない、の三つですね。

ただし、これは、人間誰しも持っているものなのです。仏教で言えば煩惱ですね。ただ、それが強い人と弱い人がいるということです。

ですから、ある意味、倫理観がない人は、愛情に恵まれていない人ということが出来るかも知れません。人から愛されたことがない人は、人を愛することができないのです。

ですから、君たちも、まずは人を愛することを学びましょう。人を愛するにはどうしたらいいか、それは人間というものを理解することだと思います。完全な人間なんていないのです。まずは、そこに立つことが必要だと思います。

人格の陶冶が倫理観を育てる

- 「人格」とは、独立した個人としての人間性。その人固有の、人間としてのありかた。
- 「陶冶」とは、生まれついた性質や才能を鍛えて練り上げること。

近畿大学の教育方針
「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」を育成

9

私は、近畿大学の建学の精神である、人格の陶冶が倫理観を育てると思っています。

人格を磨くにはいかにすべきか？ まずは、幅広い教養ですね。大学では、そのために教養科目が用意されているのです。

とくに、建築学科では、宗教、哲学の知識が不可欠です。建築は、人間の住むところを提供するわけですから、人間を知らずして良い建物を作ることはできません。

ですから、この授業では、副読本で仏教の勉強をしてもらっています。私は、仏教は、哲学に近いと思っています。特に、自己を知るという分野では、哲学よりも仏教の方が先を行っているように思います。

そして、大学4年間の様々な経験を通して、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」になることを目指してほしいと思います。

人類の歴史

- 250万年前 ホモ(ヒト)属の進化
- 50万年前 ネアンデルタール人が進化
- 20万年前 ホモ・サピエンスが進化
- 7万年前 認知革命(虚構の言語の出現)
- 3万年前 ネアンデルタール人の絶滅
- 1万3000年前 ホモ・サピエンスが唯一の人類種となる
- 1万2000年前 農業革命(植物の栽培化と動物の家畜化、永続的定住)
- 5000年前 最初の王国(貨幣の誕生)
- 3300年前 ユダヤ教の誕生。
- 2500年前 釈迦(仏教)、ソクラテス(哲学)、孔子(儒教)の誕生。
- 2000年前 イエス(キリスト教)の誕生。
- 1400年前 ムハンマド(イスラム教)の誕生。

10

ここからは、倫理と宗教の違いについて少し触れておきたいと思います。

これは教養の話になりますが、ユヴァル・ノア・ハラリという人の『サピエンス全史』という本があるのですが、これは、人類の歴史を知る上でとても良い本なので、ぜひ読んでみてください。これによると、人類が誕生したのは、約250万年前ですね。そして、7万年前に人類は、言葉というものを持つようになるわけです(認知革命)。そして、1万2000年前に、農業革命が起こり、ここから永住的な定住生活が始まるわけです。

ですから、建築物も、この農業革命以降に出てくるわけで、狩猟採取民だった時代は、定住する家は必要なかったのです。

そして、ハラリは、認知革命によって、人間は、血族以外にも通じる共通の価値観を構築し、集団で協力しあう運命共同体を作っていたと言っています。これが、ホモ・サピエンスが生き残る決定打になったわけですね。そして、個人の身体能力では、圧倒的に勝っていたネアンデルタール人は、結局は、血族以上の集団を作ることができなくて滅びていったわけです。

そして、その共通の価値観として最初に出てきたのが、シャーマニズムという宗教なのです。その後、約3300年前にユダヤ教、2500年前に仏教、2000年前にキリスト教、1400年前にイスラム教が誕生するわけです。また、2500年前には、哲学や儒教も誕生しています。

共通の価値観の進化

- 共同体の規模が大きくなるにしたがって、より多くの人間が認める普遍的価値が必要になった。
- 普遍的価値を求めて、仏教、哲学、儒教、キリスト教、イスラム教などが生まれた。
- 哲学と儒教は人間の理性をよりどころとするが、仏教、キリスト教、イスラム教は、人間の理性を超えたところに真のよりどころを求める。
(→ 後者を一般に宗教と呼ぶ)

11

それでは、なぜ、3000年前ころから、新しい宗教、哲学などの思想が生まれてきたのでしょうか？

それは、ここに書いているように、共同体の規模が大きくなるにしたがって、より多くの人間が認め合うことができる普遍的な価値観が必要になったからだと思います。

現代の状況を調べてみると、世界の総人口67億人の宗教分布は、キリスト教が総人口の約33%、イスラム教が約20%、ヒンズー教が約13%、仏教が約6%、民族宗教その他が約28% (『ブリタニカ国際年鑑』2004年版) なのだそうです。

ですから、現代においても、無宗教というのは、実はマイナーなのですね。日本では、無宗教でいばっておられますが、一步、世界に出ると、無宗教は、自己中心主義と変わらないわけで、信用がないわけですね。

倫理と宗教・哲学の違い

- 倫理は、時代や社会とともに変化する。
- 宗教や哲学は、時代を超えた普遍的な価値を求めている。
- 倫理の背後に、宗教や哲学がある。
 - この世は不条理に満ちており、倫理だけでは解決できない問題が沢山ある。
 - 人間は本質的に自己中心であり、それが常に倫理の障害となる。
 - 倫理を守るために、宗教・哲学が必要とも言える。

12

では、そういう宗教や哲学と、倫理は、どう違うのでしょうか？

一つは、倫理というものは、時代や社会と共に変化するということです。ですから、今では、パワハラや体罰は、倫理に違反することですが、私たちの時代では、それは当たり前の話で、別に倫理に違反することではなかったわけです。

また、軍隊なんかでは、今でもパワハラは、倫理違反でも何でもないわけですね。ですから、倫理というのは、その共同体の中で定められた秩序なので、普遍的なものではないわけです。

一方で、宗教や哲学は、時代を超えた普遍的な価値を求めているわけで、その辺が倫理とは異なるわけですね。

ただ、倫理の背景には、もちろん宗教や哲学があるわけです。いくら倫理を守りましようと言われても、守れない人間もいるのです。

一步、世界に出れば、皆、育った環境も、教育も異なるわけです。ですから、世界の人たちと倫理観を共有するためには、やはり普遍的な価値観が必要なわけです。

そうでなければ、皆、自国第一主義とか言い出して、人類はバラバラになっていくわけです。

倫理と道德の違い

- 「倫理」は、社会的な秩序や規律に対して、どう対応していくかという考え方（社会に対して使われる）
- 「道德」は、人々が、善悪をわきまえて正しい行為をなすために、守り従わねばならない規範の総体（個人に対して使われる）

マナラボ: <https://docoic.com/9142>

倫理と法の違い

倫理	法
「どのような行為が正しいか」を示す	「どのような行為が正しくないか」を示す
内的な自律から生じる	外的強制力によって作られる

https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/text/basic/what_is/index.html

13

そして、最後に倫理と道德の違いにも触れておきたいと思います。

ここにあるように、倫理は社会におけるルールで、道德は個人的な規律を表すわけです。

ただし、道德が、必ずしも、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」を生むとは限らないことに注意する必要があります。過度に、道德意識が高い人は、鬱病になりやすく、人にも嫌われやすいということもあるわけです。

また、善悪の基準というものは、人それぞれによって異なるので、あてにならないということもあります。

倫理・道德は、自分を律するために用いるもので、他人を過度に倫理・道德で裁くことは、非常に息苦しい社会を生み出しかねません。

例えば、北朝鮮なんかが良い例だと思います。居眠りをしただけで、死刑にされるなんてたまりませんよね。

第8回レポート課題

1. 倫理とは何かについてわかったことを書け
2. 倫理と宗教・哲学の違いについて書け
3. 副読本の「第7章」を読んだ感想について書け

14

今回は、このレポート課題にしたがって、レポートを作成してください。

また、今回の講義資料に、自分は、どのような技術者をめざすのかというレポート課題を示しています。

これは、これから4年間、建築の勉強をしていく上での目標を立てるものです。ただし、その目標は、勉強を進める内に変わるかも知れません。それは変わっても構いません。ただ、人間、目標がないと、気力もわきません。いつまでも、ここに来たのは間違っていたのではないかという思いを引きずると、どンドンうつ的になって行きます。

雑草のタンポポは、たとえどんな場所に種が落ちて、そこに立派な花を咲かせ、種を風に乗せて飛ばします。雑草のように、ただひたすら土からの栄養を吸収し、自分独自の花を咲かせることに集中する。そういう4年間にしてほしいと思います。

以上で、第8回目の授業を終了します。